

『充実した6日間』

下吉田中学校 渡邊 楓佳

私は、今回の派遣事業を通してとても大きな学びや発見を得ることができました。コロラド州へ行くまで、私は現地で英語がしっかり話せるのか、ホストファミリーとコミュニケーションが取れるのか、など不安でいっぱいの日々を送っていました。しかし、出発の日が近づいてくると楽しみな気持ちでいっぱいになり「現地で学べることは全て吸収して帰ってこよう。」と心に決めて参加しました。それに加え、私は昔からアメリカの文化や風習にとっても興味があったので、現地に行って実際に触れてみたいと思いアメリカに渡りました。

長いフライトを終え、デンバー国際空港に着いた時、日本とは全く雰囲気が異なっておりとても驚きました。それと同時に異国に来たという実感がわき、喜びと緊張が押し寄せてきました。その時、アメリカ人は初対面である私達に対し、とてもフレンドリーに接してくれました。そのおかげで緊張がとけ、リラックスして過ごすことができました。

そうしているうちにホストファミリーと対面の時間が近づいてきました。ホストファミリーは名前が書かれた看板を持ち、私達を待っていました。私は少し緊張しながらも楽しみな気持ちが勝りわくわくでいっぱいでした。

それから、ホストファミリーと一緒に過ごし、翌日は動物園やスーパーマーケットなどに連れて行ってもらいました。私が一番印象に残っているのは、ホストシスター達と乗った観覧車です。日本の観覧車とは少し違い、乗る所が箱型ではなく椅子であり、シートベルトで固定して乗るようなものでした。私は、観覧車に乗る前はとても怖くて、すごく緊張していましたが、ホストシスター達が励ましてくれて恐怖が吹き飛び楽しく乗ることができました。この時、ホストシスター達と見たあの風景は忘れられません。

ホストファミリー達と過ごす中で、大変だったこともいくつかありました。特に、英語でのやり取りで分からない単語などがあるとどう英語で返したらいいのか分からず、とても短い単語だけの会話になってしまうことがありました。ですが、リアクションをしながら話すと格段に伝わりやすくなりました。その中で、自分の英語が伝わるととても嬉しかったです。

あっという間にコロラドでの4日間が過ぎ、ホストファミリーとお別れをしました。私にとって、この6日間はとても充実したものであり、忘れられない時間になりました。ホストファミリーとのお別れはとても悲しかったですが、この貴重な経験を今後活かしていきたいです。